



令和 8 年

第 1 回 名寄市議会定例会行政報告

名 寄 市

“市民と行政との協働によるまちづくり” 1

・ 市民主体のまちづくりの推進 1

・ 情報化の推進 1

・ 交流活動の推進 2

“自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり” . . . 3

・ 地域公共交通 3

“生きる力と豊かな文化を育むまちづくり” 3

・ 上川管内教育実践表彰 3

・ 小中学校教育の充実 4

・ 生涯スポーツの振興 5

・ 地域文化の継承と創造 6

本日、令和8年第1回定例会の開会にあたり、これまでの主な行政事項について、その概要をご報告申し上げます。

“市民と行政との協働によるまちづくり”

市民主体のまちづくりの推進

はじめに、総合計画について申し上げます。

次期総合計画策定に向けては、11月に市民向けの「まちづくりアンケート」と「ウェルビーイングアンケート」を実施したほか、全3回の「市民ワークショップ」に、延べ111人の参加をいただき、本市における理想の将来像などについて、議論を進めてきました。

また、分野ごとに各団体との意見交換会を4回、名寄市立大学や名寄高等学校などへのアウトリーチを5回、定住自立圏構成市町村への意見聴取を実施するなど、幅広い年代や業種、団体の皆様方からご意見をいただきました。

今後は、市民アンケートの結果や意見交換会、アウトリーチなどでの意見を踏まえながら、基本構想、基本計画の策定に向けて「名寄市総合計画審議会」などにおいて議論を進めてまいります。

情報化の推進

次に、市民サービスのオンライン化について申し上げます。

市民の皆様の利便性向上と行政手続のデジタル化を目的として、

市民サービスオンライン化事業を進めています。

本事業では、スマートフォンやパソコンから、時間や場所を問わず申請できる環境を整備し、住民票の写し、印鑑登録証明書の交付請求や一部の公共施設の予約をオンライン化します。

3月中に運用を開始する予定であり、市民の皆様がより便利に行政サービスを利用いただけるよう取り組んでまいります。

交流活動の推進

次に、中学生台湾派遣事業について申し上げます。

次代を担う中学生が台湾への派遣や事前学習を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深めることで、国際社会に通用する豊かな国際感覚を身に付けるとともに、自国の文化に誇りをもち、夢に向かってチャレンジする気持ちを養うことを目的として、1月8日から11日にかけて事業を実施しました。

今回は、名寄中学校2年生4人、名寄東中学校2年生1人の計5人を台湾へ派遣し、たいぺいしりつ 台北市立中山國民中學との学習交流やそうとう ふ 総統府、りゅうざん じ 龍山寺、ちゅうれつ し 忠烈祠などの文化施設や歴史に触れ、たいぺい 台北市立動物園、たいぺいいちまるいち 臺北 101 展望台、夜市など観光スポットを訪れ、台湾のさまざまな文化を体験をすることができました。

今後も、子どもたちが国際感覚豊かに成長できるようなプログラ

ムの提供に努めてまいります。

“自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり”

地域公共交通

次に、地域公共交通について申し上げます。

令和7年12月末をもって名寄地区市街地を循環するコミュニティバスが廃止され、1月からはA I オンデマンドバス「のるーと名寄」へ集約されました。これに合わせ、運行日時の拡大や乗降場所の移設・新設などを内容とした実証運行を実施しています。

この実証運行に先立ち、12月には市民説明会を3回開催し、計94人の参加をいただきました。説明会では、「のるーと名寄」の概要や実証運行の具体的な内容、名寄市電子地域通貨「Yoroca」を利用したキャンペーンの紹介に加え、個別相談会も実施するなど、利用促進に向けた取組を行いました。

“生きる力と豊かな文化を育むまちづくり”

上川管内教育実践表彰

次に、令和7年度上川管内教育実践表彰について申し上げます。

上川教育局では、昭和48年度から「上川管内教育実践表彰」を実施し、上川管内の学校教育または社会教育において、優れた実践活動

に取り組み、管内教育の向上に大きく貢献している団体および個人を表彰しています。この度、本市では、学校教育で1団体、1個人、社会教育で1団体の表彰が決定しました。

学校教育では、風連中学校が校務D Xによる業務の効率化や学習データの利活用による授業改善サイクルの確立など、I C Tを活用した教育D Xの実践、名寄西小学校の香川寛明^{かがわ ひろあき}教諭が児童の小さなサインを見逃さず対応するI C Tを活用したシステムの整備や、児童のウェルビーイングの向上などに関する実践について高く評価されました。

また、社会教育では、名寄S L排雪列車キマロキ保存会が、設立以来50年にわたる車体の清掃・塗装作業や市民の皆様への普及活動など、S L排雪列車キマロキ編成の保存活動に対する取組について高く評価されました。

小中学校教育の充実

次に、小中学校の耐震化に向けた取組について申し上げます。

名寄中学校改築工事については、令和6年9月に着工し、1月末現在の進捗率は約70パーセントで、現在は内部工事を進めているところです。

旧名寄産業高等学校光凌キャンパスを名寄東中学校として活用す

るための改修工事については、昨年 7 月に着工し、1 月末現在の進捗率は約 75 パーセントで、現在は内部工事を進めているところです。

名寄中学校新校舎は 6 月末までに、名寄東中学校新校舎は 3 月末までに完成する予定であり、完成後は備品の搬入などを行い、8 月からの使用開始に向けて準備を進めてまいります。

名寄東小学校屋内運動場非構造部材等改修工事については、昨年 4 月に着工し、天井材の撤去や壁付けバスケットゴールの更新など耐震対策を実施しました。

生涯スポーツの振興

次に、生涯スポーツの振興について申し上げます。

本市出身の五十嵐晴冬選手、および五十嵐瑠奈選手が、2 月 22 日に閉会したミラノ・コルティナ冬季オリンピックへの出場を果たされました。

市としましては、その栄誉を称え、名寄庁舎および風連庁舎への懸垂幕の設置や激励金の交付を行い、一丸となって応援してまいりました。

また、N スポーツコミッションなよろが中心となり、名寄商工会議所や市も参画する「なよろフリースタイル・エアリアル応援団」を設立し、寄付金の募集に加え、17 日には E N - R A Y ホールにてパブ

リックビューイングを開催しました。

当日は悪天候のため競技自体は延期となりましたが、会場には多くの市民に足を運んでいただき、両選手へ寄せる期待の大きさを改めて実感したところです。

オリンピックという大舞台での両選手の勇姿は、本市の大きな誇りであり、市民に深い感動と勇気を与えてくれました。

地域文化の継承と創造

令和2年10月から編さんを進めてきた「名寄市史（新市版）」が本年3月に発刊の運びとなりました。

今回の市史は、平成から令和にかけての約30年間の歴史を各分野にまとめたものです。これまでに貴重な資料を提供していただいた市民の皆様や専門的知見をお寄せいただいた関係機関の皆様の多大なるご協力に、心からの感謝を申し上げます。

市史はA4サイズ、2冊組、約900ページの書籍となり、紙版で1千部、デジタル版で300部を作成しました。

頒布価格は、市史編さん委員会の中で議論を重ね、送料込みの1万円、名寄市民については8千円に決定しました。北国博物館が窓口となり頒布を行います。

3月以降に関係機関への寄贈および有料頒布の準備を進めてまい

ります。

以上、主な行政事項について、その概要を申し上げ報告といたします。